

災害が起こったら

- まずは自分の身の安全を確保しましょう。
- ペットもパニックになり、いつもと違う行動をとることがあります。飼い主が落ち着いて、ペットの安全を確認してください。
- 犬は首輪が緩んでいないか確認し、リードをつけましょう。猫等の小型のペットは、キャリーバッグやケージに入れましょう。
- 災害時には、ペットを置き去りにせず、一緒に安全な場所へ行く「同行避難」が推奨されています。避難用品を持ち、ペットと共に安全な場所へ避難しましょう。

ペット用備蓄品チェックリスト

避難所では、ペットのための食料や生活用品等はありません。災害時に困らないように、飼い主自身で用意しておきましょう。

☒ Check

- ☐ フード、水
- ☐ 食器
- ☐ 必要な薬、療法食
- ☐ ケージ、キャリーバッグ、リード、ハーネス、予備の首輪
- ☐ タオル
- ☐ トイレ関連用品(ビニール袋、古新聞、ペットシートなど)
- ☐ ペット防災手帳



長久手市くらし文化部環境課
TEL:0561-56-0612(ダイヤルイン)
平成31年4月発行

ペット 防災手帳



長久手市



ペットと一緒に写っている写真

飼い主について

名前

住所

連絡先

避難場所

住所

ペットについて

名前

種類

性別 おす ・ めす

生年月日

毛色・特徴

鑑札No.
(犬の場合)

マイクロチップNo.
(有・無)

ワクチン接種記録

かかりつけの動物病院

病院名

連絡先

病歴・治療中の病気

日頃からの備え

避難所での慣れない生活環境から体調を崩しやすいのは、人もペットも同じです。日頃から飼い主としての責任を意識して、マナーを守りましょう。

☒ Check

- ☐ 「待て」「おすわり」等の基本的なしつけをする
- ☐ 家具やケージを固定する等、転倒防止・落下防止対策を行う
- ☐ ケージ等に入ることを嫌がらないよう、日頃から慣らしておく
- ☐ 決められた場所で排泄ができる
- ☐ 人や他の動物を怖がらないよう慣らしておく
- ☐ 避妊去勢等手術の実施
- ☐ 狂犬病予防接種、各種ワクチンの接種、寄生虫の予防と駆除の実施
- ☐ マイクロチップや迷子札等の身元表示

※避難所では犬、猫、小鳥などの動物類を室内入れることは原則禁止であり、決められた場所での飼育となります。

万が一の場合に備えて、ペットの同行が可能な避難先や、預かり先を想定しておきましょう。